

園児の成長ぶりに保護者も歓声

ゆめ中央保育園 運動会開催

第6回ゆめ中央保育園運動会が10月10日（土）行われ、当日は爽やかな秋空のもと、約500名のご家族が来場しました。開会では園児達が英語で「Hip Hip Horay（エイエイオー）」と元気いっぱいに気合を入れました。

0歳児～5歳児までの総勢127名が、徒競走や障害物競走、ダンス等を披露しました。保護者の方々も頑張る子ども達の成長ぶりに、カメラを向けたり、必死に歓声を送ったりと、大変盛り上がりしました。今年は、通行や音量などの迷惑がかからないよう、近隣への環境にも配慮しました。園児・保護者・職員の皆の心がひとつになり、大成功の運動会でした。



施設紹介 訪問看護ステーションゆめ 入口所長より

昨年12月1日に大阪市都島区に開所いたしました訪問看護ステーションゆめは、まもなく1年を迎えようとしています。おかげさまで、開所より102名の方のお世話をさせて頂きました。地域の皆様の信頼を得て、存在を認められるようになっております。利用者様、ご家族様、そして地域の方々、ひとりひとり、ひとつひとつの出会いから多くのことを教えていただき、新設ステーションの未熟な私たちを育て頂いたことに、心より感謝申し上げます。これからもご利用者様、ご家族様の思いに寄り添い疾病や障害を持った方が、安心して自宅で過ごすことができるよう、明るく元気に前向きに訪問看護に励んで参ります。質の高い看護の提供が出来るよう、日々研鑽を積み努力して参ります。



職員写真

お知らせ ～尼崎市市制100周年記念事業に登録されました～

2015年11月12日（木）13:00～
特別養護老人ホームゆめパラティースにて
「ゆめパラセミナー」を開催いたします

- プレゼンター
- ・フィンランドHanako ネットワーク デジタルストーリー研究チーム
 - ・熊本県山鹿市議会 福祉厚生常任委員会
 - ・関西福祉科学大学准教授 医学博士 横井賀津志 先生



申込は右のQRコードから



社会福祉法人 隆生福祉会 季刊誌

Vol.20



2015年 秋号
2015.11.10 発行

●隆生福祉会 管理統括部
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里 1-3-22
tel 06-6701-5820
fax 06-6705-5108
http://www.smile-yume.com

HEAD LINE

ゆめいっぱい
研修紹介
ゆめ長居公園 10周年
ゆめパラティースフェスティバル
保育園運動会
事業所紹介

福祉は人なり 個を磨き 個を活かす

- 研修体制を充実させています -



★ ゆめいっぱい ★



理事長 藤本 加代子

私たちは、お一人お一人がその個性を大切に尊重し、「すこやか」で健康に、「いきいき」と楽しく、「しっかり」自立して、当たり前前の自然な生活をしていただきたいと思います。それらを実現する為、隆生福祉会では『よいサービスはよい人材から』と考え、職員の一人ひとりを磨いてその持ち味を活かすことを大切にしています。

外部の専門家を講師としたスキルアップ研修、役職（役割）に必要なスキルを身につける階層別研修、そして世界に視野を広げるための海外研修といった、多彩な研修体制を整えております。

こういった職員一人ひとりを大切に考える研修で研鑽を積むことが、ご利用者様の笑顔につながり、ひいては隆生福祉会のコンセプトである「輝くグランドフィナーレ」の実現につながっていくと考えています。今後も先端の知識や技術を取り入れ、さらに研修体制を充実させて参ります。

スキルアップ研修

認知症の方に安心・安定した暮らしを 認知症講座

関西福祉科学大学 保健医療学部 准教授 横井 賀津志 先生による、認知症講座を開催しています。月に一度、特別養護老人ホームゆめパラティース・ゆめあまみにて



講座の様子

職員たちが認知症について学んでいます。認知症の方が安心・安定した暮らしができるように、基礎知識から順に学びます。

グループワークでは現場での困難事例を取り上げて、その人のこれまでの人生を深く知り、より気持ちに寄り添える対応を研究していきます。最終は、グループごとに研究発表を行う予定です。

自己の『気づき』のきっかけに 管理職啓発ゼミ

管理職研修の一つとして、経営コンサルタントの平岡和矩先生による「管理職啓発ゼミ」を月に一度、実施しています。各施設の管理職が先生との一対一の面談を通して、仕事に対する姿勢やこれからの成長について考え直したり、自己の「気づき」のきっかけとしたりするためのゼミです。

実習形式で互いに意識を高め、技術の確認 口腔ケアセミナー

市立池田病院 歯科口腔外科主任部長 口腔ケアセンター長 大西徹郎先生による、口腔ケアセミナーを開催しています。実習形式で口腔ケアの技術を学び、職員同士で互いに技術の確認をしています。適切な口腔ケアにより、高齢者の肺炎



大西徹郎先生



セミナーの様子

の主要原因である口腔内の細菌を減らすことができます。また何でも噛める歯を保つことは、認知症の発症リスクを減らす効果があります。毎日ご利用者様に接している施設の職員だからこそ、気付けること、できることがたくさんあります。このセミナーによって、職員の口腔ケアに対する意識がより高まっています。



平岡和矩 先生

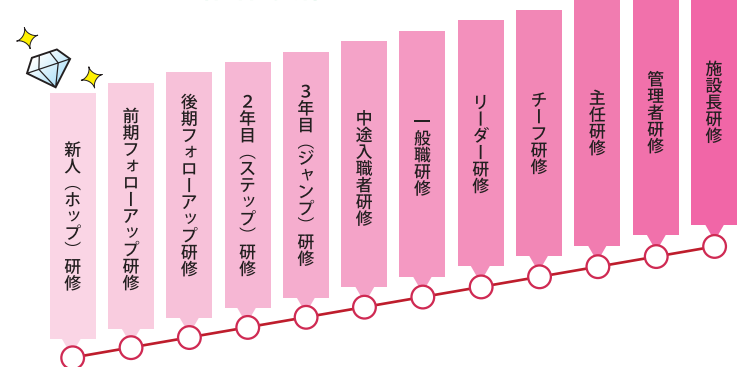


ゼミの様子

階層別研修

隆生福祉会では、職員一人ひとりが仕事への誇り・やりがい・責任感を持ち、知識・技術・教養をバランスよく身に付けるための総合的な法人内大学「ゆめユニバーシティ」を設置しています。その中で、「ゆめカレッジ」として職員研修を体系化し、職能研修、階層別研修、教養研修や海外研修などを行っています。特に階層別研修では、役職（役割）に必要なスキルを身に付け、グループワークなどを通じて問題解決能力を高める研修を行っています。

階層別研修ラインナップ



グループワークでの発表



グループワークによる研修



講義による研修



海外研修

平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査

北欧三ヶ国の福祉制度を学ぶ

ゆめあまみ 寺本施設長 北欧研修

特別養護老人ホームゆめあまみの寺本施設長が、全国の中から11名の施設長班に選ばれ、13日間の日程で北欧三ヶ国を訪問し、福祉と制度を学びました。「北欧福祉は、施設での介護が中心となっていました。現在では可能な限り在宅での生活が望ましいとの考えが定着し、24時間対応の訪問看護等の福祉サービスが飛躍的に増加しています。更に『予防を目的とした家庭訪問』を自治体で実施することにより、施設入所の待機者がほとんどいない状態です。デンマークは、消費税の25%をはじめとして高い税率がかけられていますが、教育・医療・福祉における個人負担はなく、福祉が国民全体に行き届いていました。これらのノーマライゼーションを基盤とする社会福祉を目の当たりに勉強できました。」（寺本施設長）



ホスピタリティ溢れる優しい気持ちを持つ事を学ぶ

ゆめあまみ 橋本主任 北米研修

福祉職員班には、特別養護老人ホームゆめあまみの橋本主任が参加しました。全国から選ばれた15名と共に15日間、アメリカの12施設を訪問し福祉や制度を学びました。「アメリカには日本のような公的介護保障制度がない為、介護は医療の一部として提供されています。高齢化率は日本ほど高くありませんが、構造的に無保険者を抱えています。加えて、多人種国家ゆえの文化や言葉の問題も山積しています。それでも個々に必要なサービス提供の為に多職種が協力し、アクティビティを充実させていました。日本の福祉との違いを知ると共に、『ホスピタリティあふれる介護』が求められていることは万国共通であることが分かりました。」（橋本主任）



* 実習を間近に控えて...

海外実習生実習準備プログラム

11月のフィンランド海外実習生に選抜された4名は、実習準備プログラムが始まり、月に2回、勤務終了後に研修を受けています。研修は、実習の目標設定、フィンランドの基本知識、英会話など、実習をより充実させるための内容になっています。勤務終了後の限られた時間ですが、皆やる気満々でプログラムに取り組んでいます。



* 民族舞踊を披露

フィンランド実習生来日

10月16日、フィンランド『Santa Sport Institute』の学生5名がダンスの実習の為に来日しました。翌日にはゆめ長居公園の「ゆめフェスタ」にてフィンランドの民族舞踊を踊りました。とても軽快な踊りは、ご利用者様やご家族様はもちろんのこと、職員まで楽しい気持ちになりました。実習期間は約1ヶ月の予定で、これから各施設にて様々なパフォーマンスを披露します。



ゆめ長居公園 10周年 ゆめフェスタ

今年で10周年を迎えるゆめ長居公園で、記念すべき10回目となる『ゆめフェスタ』が行われました。来場者は130名を超え、施設の中で射的やワークショップ、外ではカレーやフランクフルト等の出店を開き、にぎやかな催しとなりました。また、地域ボランティアの方による美しい音色の尺八や箏の演奏、学生ボランティアによる勇ましいソーラン節の披露などのイベントもあり、いたるところでご利用者様・ご家族様達の笑顔が見られました。ゆめ長居公園のコンセプトである『テーマパークのような楽しい施設』を体現する、10周年にふさわしいイベントとなりました。



職員による出店



学生ボランティアによるソーラン節



ボランティアによる箏・尺八の演奏

ご利用者様、ご家族様 感激の涙 ゆめパラティースフェスティバル

施設開設1周年！

特別養護老人ホームゆめパラティースが、開設1周年を迎え、9月13日（日）に、「ゆめパラティースフェスティバル2015」を開催致しました。露店をはじめとして、介護職員（エスコート）が考案した“ゆめパラ体操”や敬老のお祝い式、また、地域の園田学園中学高校の吹奏楽部による特別演奏等、多数の催しが行われました。その中でもメインプログラムのファッションショー「RYUSEI YUME Paratitsi Collection2015」では、ご利用者様がモデルとなり、一番思い出深い時の衣装に身を包み、揃いの衣装の職員と共にランウェイを歩きました。笑顔で喜ばれるご利用者様の姿を見て、感激の涙を浮かべるご家族様もいらっしゃいました。



ご利用者様によるファッションショー RYUSEI YUME Paratitsi Collection2015



職員によるソーラン節



輪投げの露店



園田学園中学高校による吹奏楽演奏

* NPO法人認知症フレンドシップクラブ主催

RUN 伴（ランとも）



中、特別養護老人ホームゆめあまみのご利用者様も参加し、計6名が「チーム Ryusei」として大阪市内を走ることができました。

美しい音色に聞き惚れる at ゆめパラティース ピアノコンサート

10月17日ゆめパラティースにて、岡田敦子先生によるピアノコンサートが開かれました。童謡など馴染みのある楽曲の演奏に、ご利用者様は口々に「綺麗な音やね」「この曲懐かしいわあ」と話しながら音色に浸り、とても穏やかで心温まる一日を過ごしました。

